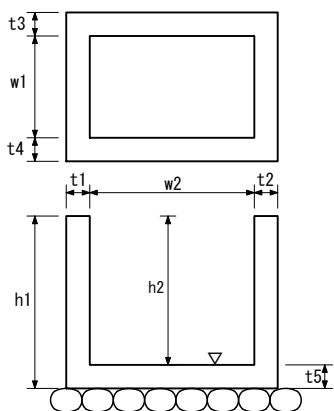


山形農林\_出来形フォーマットサンプル



・畦畔工測定結果一覧表(断面)



(単位: mm)

管理基準値 ( mm )			±30	-20	-20									
ほ区	耕区	種別	▽	t1	t2				( )					
No. 1	~	設計値	10.010	0.150	0.150									
		実測値	10.020	0.160	0.160									
		差	+10	+10	+10									
No. 2	~	設計値	10.020	0.150	0.150									
		実測値	10.020	0.150	0.150									
		差	0	0	0									
No. 3	~	設計値	10.030	0.150	0.150									
		実測値	10.020	0.140	0.140									
		差	-10	-10	-10									
No. 4	~	設計値	10.040	0.150	0.150									
		実測値	10.040	0.150	0.150									
		差	0	0	0									
No. 5	~	設計値	10.050	0.150	0.150									
		実測値	10.060	0.160	0.160									
		差	+10	+10	+10									

備 考

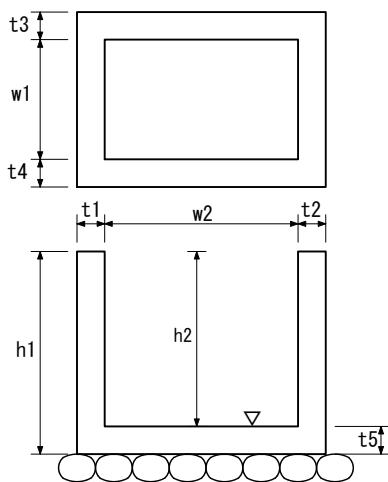
注) 設計値は標準的に取扱いしているものを記入し、Lは延長。

1. 耕区欄の~印は、上下耕区の間連を示すもので、該当耕区番号を記入する。

2. 測定位置は中間点とする。



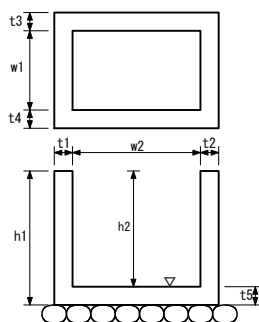
・ 進入路工測定結果一覧表(断面)



(単位: mm)

管理基準値 (mm)		±30	-20	-20	管理基準値 (mm)		±30	-20	-20
名称(又は略号)	種別	▽	t1	t2	名称(又は略号)	種別	▽	t1	t2
No. 1	設計値	10.010	0.150	0.150	No. 6	設計値	10.060	0.150	0.150
	実測値	10.020	0.160	0.160		実測値	10.060	0.150	0.150
	差	+10	+10	+10		差	0	0	0
No. 2	設計値	10.020	0.150	0.150	No. 7	設計値	10.070	0.150	0.150
	実測値	10.020	0.150	0.150		実測値	10.060	0.140	0.140
	差	0	0	0		差	-10	-10	-10
No. 3	設計値	10.030	0.150	0.150	No. 8	設計値	10.080	0.150	0.150
	実測値	10.020	0.140	0.140		実測値	10.080	0.150	0.150
	差	-10	-10	-10		差	0	0	0
No. 4	設計値	10.040	0.150	0.150	No. 9	設計値	10.090	0.150	0.150
	実測値	10.040	0.150	0.150		実測値	10.100	0.160	0.160
	差	0	0	0		差	+10	+10	+10
No. 5	設計値	10.050	0.150	0.150		設計値			
	実測値	10.060	0.160	0.160		実測値			
	差	+10	+10	+10		差			

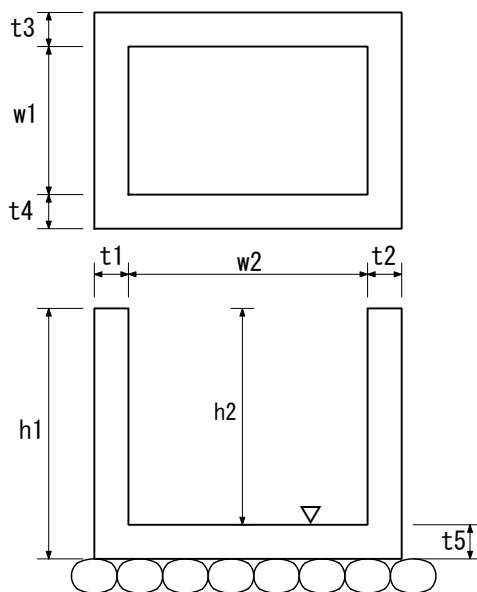
・ ○水路工 構造物測定結果一覧表(断面)



(単位: mm)

管理基準値 ( mm )		±30	-20	-20						
名称(又は略号) および施工番号	種別	▽	t1	t2						
No. 1 ( 50 m )	設計値	10.010	0.150	0.150						
	実測値	10.020	0.160	0.160						
	差	+10	+10	+10						
No. 2 ( 100 m )	設計値	10.020	0.150	0.150						
	実測値	10.020	0.150	0.150						
	差	0	0	0						
No. 3 ( 150 m )	設計値	10.030	0.150	0.150						
	実測値	10.020	0.140	0.140						
	差	-10	-10	-10						
No. 4 ( 200 m )	設計値	10.040	0.150	0.150						
	実測値	10.040	0.150	0.150						
	差	0	0	0						
( 250 m )	設計値									
	実測値									
	差									
備考	1. この一覧表は、標準化されている諸構造物を管理する場合に使用する。 2. 上段空欄に様式15~19の必要断面を貼る。又、これによりがたい場合は断面を記入してよい。 3. 水槽等の寸法管理については、4断面を記入する。その場合の寸法記号は適宜決め、マジック等で測定箇所を表示する。又、内側、外側、深さ等も各々測定する。									

・道路工測定結果一覧表(延長)



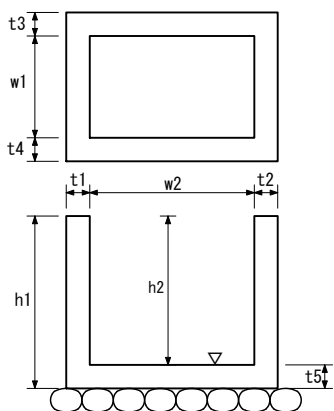
(単位: mm)

路線名	種別	基準高	路線名	種別	基準高
No. 1	設計値	10.010	No. 5	設計値	10.050
	実測値	10.020		実測値	10.060
	差	+10		差	+10
No. 2	設計値	10.020	No. 6	設計値	10.060
	実測値	10.020		実測値	10.060
	差	0		差	0
No. 3	設計値	10.030	No. 7	設計値	10.070
	実測値	10.020		実測値	10.060
	差	-10		差	-10
No. 4	設計値	10.040	No. 8	設計値	10.080
	実測値	10.040		実測値	10.080
	差	0		差	0

備考

1. 全路線対象とする。
2. 始点・終点には木杭を打つこと。
3. 標準設計の表示に使用する凡例記号は、参考-1を参照すること。
4. 道路が交差する場合には、幹線を優先し、支線、耕作道路は路肩からの延長とする。

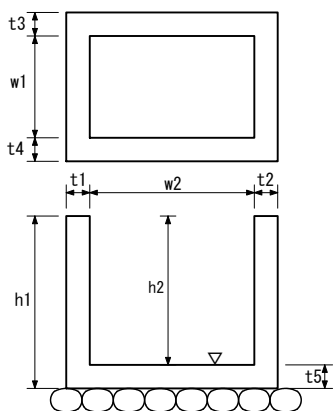
・ 道路工測定結果一覧表(断面)



(単位: mm)

管理基準値 (mm)		±30	-20	-20										
名称	種別	▽	t1	t2										
No. 1	設計値	10.010	0.150	0.150										
	実測値	10.020	0.160	0.160										
	差	+10	+10	+10										
No. 2	設計値	10.020	0.150	0.150										
	実測値	10.020	0.150	0.150										
	差	0	0	0										
No. 3	設計値	10.030	0.150	0.150										
	実測値	10.020	0.140	0.140										
	差	-10	-10	-10										
No. 4	設計値	10.040	0.150	0.150										
	実測値	10.040	0.150	0.150										
	差	0	0	0										
	設計値													
	実測値													
	差													
備考	1. 始点より200m毎に測定し、測定杭を打つこと。 2. B3、T4、T5、T6は搬入土の路線に適用し、舗装道路の路盤工は、6. 道路工事を適用する。 3. 基準高、中心線のズレ(e)は指定した場合に適用する。													

・ ○水路工測定結果一覧表(断面)



(単位: mm)

管理基準値 ( mm )		±30	-20	-20										
名 称	種別	▽	t1	t2										
No. 1	設計値	10.010	0.150	0.150										
	実測値	10.020	0.160	0.160										
	差	+10	+10	+10										
( 50 m )														
No. 2	設計値	10.020	0.150	0.150										
	実測値	10.020	0.150	0.150										
	差	0	0	0										
( 100 m )														
No. 3	設計値	10.030	0.150	0.150										
	実測値	10.020	0.140	0.140										
	差	-10	-10	-10										
( 150 m )														
	設計値													
	実測値													
	差													
( 200 m )														
	設計値													
	実測値													
	差													
( 250 m )														
備 考	1. 始点より50m毎に測定し、測定ヶ所の製品に印をつけること。													